



2022年 12月26日
第95号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集 情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



福知山線脱線事故前夜のJR東日本 vol. 1

停止信号なのに回送列車を起動開始してしまった国府津運輸区の運転士が、今現在も日勤教育を受けています。この情報は、横浜地本情報第90号「福知山線脱線事故を振り返る vol.2」と合わせてご覧ください。国府津運輸区での日勤教育の内容は以下の通りです。

再教育におけるレポートや教育内容

1日目

- 事象を起こしてしまった原因
- 他箇所での流転事象を例にした振り返り・事象の掘り下げ

2日目

- 思い込み・先読みの危険性
- 自分が起こした事象で周囲にどれだけ影響があったか
- 職場内の除菌作業（労働時間外）

3日目

- 職場内での除菌作業（労働時間外）
- 自分の仕事への想い・あるべき姿

4日目

- 今回の事象を最初から説明・振り返り
- 日勤の過ごし方 ○ルーティーンについて

5日目

- 日勤教育5日間の振り返り ○区長・副長面談

6日目

- 区長面談 ○国府津運輸区の委員会活動について
- 就業規則の読み合わせ ○お客さまに不安を与える乗務態度

7日目

- 職場内の除菌作業 ○副長との話

8日目

- 昔の当たり前と今の当たり前
- A副長のジョブローテーション・経歴
- B副長のジョブローテーション・経歴

9日目

- 日勤教育8日目の感想文作成
- C副長のジョブローテーション
- 三河島事故・三島事故について
- 入社してから業務を通して成長を感じたところ・今後の目標・目標を達成するために何をするか

10日目

- 社会人として

11日目

- Dアドバイザーの経歴・経験 ○区長面談

12日目

- 年休を申し込み休む

13日目

- 年休を申し込み休む

また日勤教育の中では「自分ファーストだ」「少しでもこの日勤が辛いと思ったら運転士に戻れないと思ってください」「乗せる、乗せないも俺が判断する」「運転士以外の職も考えた方がいい」など運転士を精神的に追い詰めるような言葉が管理者・指導員から発せられています。そして、11日目の区長面談では「乗務以外の業務に積極的に取り組まなければ運転士不適合。よって乗務復帰させられない」という趣旨の話がされています。このような教育内容、発言を11日間浴びせられ続け、当該運転士は職場に行けないほど精神的に追い詰められました。しかし、現在も乗務復帰の目途は立たず、日勤教育が続けられています。

国府津運輸区の日勤教育は事故防止になっているのか？